

# お お ぞ ら

No.9 (126)

社会福祉法人 聖隷福祉事業団  
総合病院 聖隷三方原病院  
聖隷おおぞら療育センター

〒431-1304  
静岡県浜松市北区三方原町3453  
TEL 053-437-1467

発行責任者 荻野和功  
編集者 横地健治

2008年5月20日

## ショートステイ規模拡大が必要

所長 横地 健治

いまだに看護師が十分に確保できない状況のため、医療型ショートステイ枠を増やすことができないでいます。そのため、希望通りのショートステイ利用に比べられない状況が、特に医療的ケアを要する重症心身障害児(者)にとっては今も続いています。それでは、医療的ケアを要さない重症心身障害児(者)のショートステイ枠が空いているかというところではありません。ほぼ常時、埋まっている状況です。障害者自立支援法施行による自己負担増のため利用抑制が起こることも予想されましたが、ショートステイ希望数は全然減っていません。むしろ確実に増えています。常時医療的ケアを要する小児が、次々とショートステイ利用を求めて訪れているといった状況に変わりはありません。それでは、看護師が充足するようになつたら、どのくらいのショートステイ規模が適当なのでしょう。

新規ショートステイ希望者には常時医療的ケアを要する人が多いことからわかるように、こうした人の家庭介護は大変であり、介護の休息はなければならぬものです。医療的ケアを要する障害を持つた人が病院を退院し、在宅生活を送るようになったら、その人は必ずショートステイを利用できるようにしなければなりません。医療的ケアを要さない障害でももちろん介護者の負担が大きい場合はありますが、医療的ケアがあれば、多大な介護負担を要するのが普通です。医療的ケアとは、人工呼吸器管理、気管切開管理、気道吸引、経管栄養管理などを指します。こうした人々には、定期的体位変換などの姿勢管理も必要になるのが一般的です。医療従事者なら交代勤務で行うことを、家族(たいてい母親)は24時間連続して行わなければなりません。休息の仕組みがなければ、365日またはそれ以上、これを行わねばなりません。こうした医療的ケアの大変さは、重症心身障害でない障害者(知能障害・運動障害のない小児

も)でも変わりません。すべての医療的ケアを要する人の家族には、介護の休息が与えられねばなりません。それぞれの障害者が、公的援助下のショートステイを毎月何日利用できるかは、各人の受給者証(役所の発行)に記載されています。どういふルールでこの日数が決まるかは明らかではありません。そもそも、発行されている受給者証のショートステイ利用可能数の総数が、その地域のショートステイ受け入れ可能数とどう対応しているかわかりません。ショートステイ受け入れ可能数は、どんなに低く見積もったショートステイ必要数よりはるかに少ないのが現実です。ですから、両者をマッチさせて、利用可能日数を決めるようという意識は役所にはないと思います。各障害者の正当なショートステイ利用可能日数を決定し、その総数の受け入れ可能枠が地域に整備されるべきです。

前述の医療的ケアを要する障害者には、多くのショートステイ利用可能数が認められるべきです。人工呼吸器使用者には毎月最低一週間はショートステイが利用できるべきと考えます。二週間は上限として認めていいと思います。そうすれば、小児科病棟やNICUの長期入院を減らすことにも、施設入所までの在宅生活を長くすることにもつながります。重度な障害者でも家族とともに地域で暮らすのが、障害者本人にも家族にも最善と考えます。介護困難の程度を評価し、それに合わせた十分なショートステイ利用可能日数が決められねばなりません。家族の介護能力も正しく評価されねばなりません。祖母が介護協力者として同居しているか、祖父も要介護者となっていないか、また、両親の年齢・健康状態もショートステイ利用可能日数に反映させねばなりません。介護者の年齢が五〇歳を越えれば、定期的体位変換を要する重症心身障害児(者)の介護は相当困難になるはず。一般企業の定年の年齢となれば、すべての重症心身障害児(者)の介護はまず不能と断言していいはず。当然、介護も定年となるべきです。

今新規入所ニーズに 대응するため、増床を検討しています。前述したような十分なショートステイ利用枠を確保するため、ショートステイの大幅な増床もあわせて検討しています。それまでは、窮屈なショートステイ枠であることをご容

赦ください。その対応として、急なキャンセルや入所者の聖隷三方原病院転棟により、新たなショートステイ受け入れ枠が発生した場合、それをホームページに公示するシステムを作っています。ご活用ください。

## 焦らず、努力を

杉田 光宏

今年の四月から聖隷おおぞら療育センター北棟うららで勤務することになりましたのでよろしく願います。私は聖隷クリストファー大学に通っていた時、聖隷三方原病院で看護助手のアルバイトをさせてもらっていました。そして、その看護・介護の技術の高さや福祉の精神を見て私も聖隷福祉事業団に入ればやりがいのある充実した仕事ができると思い聖隷に就職したいと思いました。

聖隷おおぞら療育センターに就職して、早くも一ヶ月になりました。やはり、高いと思っていた技術や志は高く、早く自分も先輩職員さんのようになりたいと思う日々が続いています。特に、自分が驚いたのは食事のことです。ど

んなに一生懸命、食べてもらおうと頑張っても利用者さんは、全く食べてくれません。そこで、先輩職員さんに代わってもらおうと今まで自分がどんなに頑張っても食べてくれなかったのが嘘のように食べてくれるのです。この時、自分はまだ利用者さんとの信頼関係や介護技術が足りないということを痛感させられました。そのような場面がいくつもあり自分は本当に最初焦ってしまいました。しかし、先輩職員さんは焦らなくてもいい、少しずつでいいから利用者さん一人一人を深く追究してよい援助を考えて下さいといってくれました。自分は、その言葉を聞き、焦らず少しずつですが利用者さんの情報を手に入れ、理解し、自分なりに考え、そして分からないことは先輩職員さんに相談して行動出来るようにしていきたいと考えられるようになりました。

に小さなことでも職員間での連絡は欠かさず自分が担当になった利用者さんは勿論のこと、自分がとった行動にはしっかりと責任をもちたいです。そして、その責任が自分の仕事への誇りとなっていければ幸いです。今はまだあまり余裕がなくどんどん知識を吸収しているだけですが、これから少しずつ時間がたち、今度は手に入れた知識を活用して、利用者さんによりよい援助を提供できるように考え、行動していきたいです。またその過程で自分も楽しんでいけるようになりたいと思います。

まだまだ、職員としても社会人としても未熟な点が多いと思いますが、この仕事に誇りを持ち一生懸命頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

(うらら生活支援員)

## 私の抱負

勝又 久実子

私が重症心身障害者施設で働きたいと思うようになったきっかけは、福祉の専門学校に入学をして三年目に重症心

身障害者施設から講師として来て下さっている先生の授業でのことです。先生の授業は実技が多く嚙下について考える時には水分にトロミをつけるものを相手に飲ませてもらい、また仰向けになりパンを食べ、実際に自ら体験して障害を持つ方の気持ちや、生活の状況により近づいて考えるきっかけを作っていました。

そして最後の授業では自分の考えた援助方法で利用者の方に喜んで頂けるようなグループ活動を行うことになりましたが、私はまだ重症心身障害者を持つ方にお会いしたこともなく、「どういった障害の方なのだろう」と思っていました。

富士のデラートという施設に実習に行き実際に利用者の方と接してみると、大きな衝撃が走りまわりました。体の変形が進んでいる方、呼吸器をつけて生活をしている方、経管栄養を必要とされている方など私の三年間の実習では見たことのない光景の連続でした。

そのような中で自分が援助を出来るかとても不安になり、職員の方に質問ばかりしてしまっ形になってしまいました。午後の活動ではトランポリンを使い体の感覚で楽しんでもらうことにしました。

最初はどんなふうな援助を

しながら楽しめばいいのかなりませんでした。利用者さんの楽しそうな笑顔を見ているともっと楽しんでもらいたいという気持ちになりました。

最後に先生から「まずは自分が楽しまなければ相手も楽しめない。」という言葉聞いてもっと利用者さんのことを知りたいと思いました。卒業研究でも重症心身障害にかかわるテーマにきめて調べようになりました。今までにも知らなかった障害についても知識を得て、「利用者さんの生活が家庭にいる時のような雰囲気になる援助を提供できる職員になりたい」という思いがいつしか私の中で目標となり、聖隷おおぞら療育センターに就職を決めました。

もうすぐ就職して一ヶ月になろうとしています。仕事についても一生懸命努力し、一人一人の利用者さんのことを理解し、また福祉を目指そうとした初めの気持ちを忘れずに援助出来るように頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

(すばる生活支援員)



# の宝箱

## 私

### わたしとアロマ

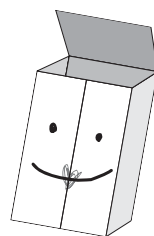
中澤 恵美



アロマセラピーと出会い六年目がたちました。きっかけは、父親が習い始め自然に精油やハーブに触れるきっかけをいただいたことが始まりです。なじみずいいた香りもありましたが、アロマのレッスンを受けた後の父親はなんともいえず幸せそうくな顔をして毎回、帰宅するのを間近でみて不思議に思いました。

「香りをかくことで、幸せになれるの……?」とはじめは半信半疑でしたが、父の姿をみて興味津々、わたしもアロマを習おうと決めたのでした。

初めていただいた精油はラベンダー。親しみやすいこの香りは、イギリスでは、常備薬として薬箱に置いてあるというほど、様々な効能があります。わたしも、大好きな香りのひとつで、寝る前に芳香浴として、入浴



時に数滴浴槽にたらしたりもしています。部屋いっぱいにはラベンダーの香りが広がり、リラックスできるひとときがはじまります。香りのこまかな粒子が鼻粘膜から、脳下垂体までたどり着き様々な効果を発揮するといわれています。なるほど……これはいいかもしれない!と単純な私は、こうしてアロマセラピーに夢中になりました。他にも掃除や化粧水、シャンプーなど生活に適した精油をそれぞれ使い分けています。ほのかな香りと共に、植物の恩恵をいっぱいいただいています。

人は様々な思いを抱き生きています。悲しいとき、苦しいとき、涙を流すことも多々あります。わたしもそのひとりです。そんなときは、この大好きな香りを胸一杯吸いこんで、つらい気持ちと共に吐き出すのです。そうすると、次第に幸せな気分になるのです。そして、優しい気持ちにさせてくれるのです。アロマセラピーを通して、自分や、家族、周りの方々へそんな気持ちを届けていきたいな……と思うのです。

(こだま看護師)

## 絵本の世界

### はらぺこあおむし

作：エリック・カール 偕成社

一戸 由美子



はらぺこあおむしの絵本

私は、ひかりの子(就学前の子)も達が通園している所(に所属しています。ひかりの子では、毎年冬になると、絵本遊び(何冊か絵本を厳選し、子ども達に繰り返し読み聞かせをするもの)をしており、その中で特に人気があるのが、この「はらぺこあおむし」です。今から私は、この絵本を紹介すると共に、その人気の秘密に迫ってみたいと思います。では早速、この絵本にはどのような特徴があるのか、考えてみました。その結果、①カラフルな色使いで、輪郭がはっきりしている②「おなか

はらぺこへこ」の言葉の繰り返し③色々な食べ物が登場する④あおむしが食べた所に穴が開いている⑤ページ一面に色鮮やかな大きな「ちょうちよ」が出てくる事が、考えられました。その中でも、特にひかりの子の子ども達が気に入っているのは、①②⑥の部分です。表紙に、いきなり色鮮やかなあおむし君が登場!更にページをめくる度に、カラフルな食べ物が出てくるので、次から次へと子ども達の目を引き付けます。次に、何度も出てくる言葉「おなかはぺっぺこ」は、とてもリズムカルで、繰り返し面白いです。

「おなかはぺっぺこへこ」と最後に伸ばして読むと、大うけしてくれる子もいます。そして、何と言っても最大の見所は、最後のページに出てくる大きな「ちょうちよ」。茶色一色だった「さなぎ」から、綺麗なちょうちよに変身すると、見ている子ども達の目もまん丸になります。

「ちょうちよ」が出てくると、両手をパタパタさせて喜ぶ子や、ページをめくる前から「ちょうちよ」が出てくるのを期待してキャハハーと笑っている子もいるのです。

この絵本には、子ども達を笑顔にする要素がいっぱい詰まっています。それが人気の秘密なのですね、きっと。

(ひかりの子保育士)



# あゆみ

## (入所)

- 3.2 だいち3名、ほのぼのコンサート(細江多目的センター)へ。音楽に合わせてリズムを取ったり、メロディーを口ずさんだりして楽しめたようでした。
- 3.6 すばる6名、園内にてケーキ作りに挑戦しました。泡だて器の音、フルーツの香り、生クリームの甘味、そしておいしいケーキの味を楽しむことができました。
- 3.12 すばる2名、イチゴ狩りへ。獲ったばかりのイチゴをおいしそうに食べました。ビニールハウスの中はイチゴの香りが充満していて、香りでも楽しむことができました。
- 3.25 うらら3名「サガミ」へお昼ごはんを食べに出掛けました。みんなお店での食事を楽しみ、車でのドライブでも外の景色をみて、表情良く過ごせました。雨天のため都田公園へ行く予定を変更しましたが、充分楽しめました。

- 4.6 だいち2名、浜名湖ガーデンパークへ。広い園内を思い思いに歩くことができました。春の花々がとてもきれいでした。
- 4.23 すばる2名ショッピングセンターへ買物に行きました。興味のあるものをみつけると手を伸ばして触ったり、気に入ったものを買ったりしました。

## ～北棟の日曜日～

- 3月 ひなまつり  
はるかではひな人形を飾りました。雛壇の前で写真を撮ったり、お菓子を食べたりしてひな祭りもしました。

## 活動報告会

- 16日、はるかではビデオや写真を使って、活動報告会を行いました。昼食は利用者、ご父兄、職員みんなで食べました。
- 4月 桜満開!! お花見に出掛けました。春になり暖かくなってきました。散歩やテラスにでて過ごす時間が増え、気持ちの良い季節です。テラスにも花を植えました。新年度になり、新しいケース担当が決まりました。利用者、職

員と共に写真を撮りました。鯉のぼり、5月人形を飾りました。

## (通所部門)

### あさひ

- 3月 まだ寒さを感じるこの時節、室内でアロマ浴、影絵など個別の時間をゆったりすごしました。また、個別支援計画に基づく一年間の評価など、保護者と面談をしました。
- 4月 あさひ定員枠「25人」から「35人」に利用拡大。  
4人の新たな利用者を迎え入れ、6グループ体制で今年度スタートしました。

### ひかりの子

- 3.26 卒園式。今年度は3名が卒園し、4月からの新たな一歩を踏み出します。

## (全体)

- 3.1 「小さな親切運動」静岡銀行職員有志による奉仕活動
- 3.2 静岡つばさで家族の会メンバーの交流会
- 3.16 家族の会  
4.1 新職員オリエンテーション
- 4.20 家族の会
- 4.28 帰省日



## ありがとうございました



日本財団から福祉車両をいただきました。

☎〇五二一四三七一四六六七

夏期デイケアスタッフ募集  
学校に通っている重症心身障害児に夏休みを活動的に過ごす場を提供するプログラムです。  
身辺介護と遊びの支援が中心になります。スタッフ対利用者比 1対1を予定しています。  
お手伝いして下さる方を求めています。  
期間 7月28日～8月29日  
(土日と8/11から8/15は休業)  
募集人員 30名  
応募資格  
障害児療育に理解と関心のある社会人  
福祉看護/介護/保育等専攻の学生  
面接随時実施いたします  
7月26日(土)10時  
オリエンテーション実施  
勤務時間 9時～17時  
時給 八五〇円以上(経験に応じて)  
交通費実費支給(上限一日、一三五円)  
連絡先 聖隷おおぞら療育センター

五月という月は、晴れの日が多く湿度も高くなく、一年の中でもすがすがしくていい月だと思いませんか? 春の眠さが吹っ飛び、遊びに行きたくなるような天気が続くことも多いですよ!

私は、絶叫マシーン(ジェットコースター)が大好きなので、遊びに行くならフラワーパークやガーデンパークではなく、長島スパワールドや富士急ハイランドです! キャーキャー騒ぎながら乗ると、日ごろのストレスも一気になくなって行きます! デイズニールンドやデイズニールーにも久しぶりに行きたいですね。

今年も梅雨がくる前にかく遊園地に行こうと思ってる今日この頃です。(y)

## 編集後記

西棟から見える桜はあっという間に散ってしまいい、すでに青々とした新しい葉っぱで一杯になりました。さくらだけではなく、山の木々も青く輝いており夏が刻々と近づいているのを感じます。

	3月	4月
ショートステイ	50人 (226日)	40人 (182日)
レスパイト	25人 (68日)	24人 (61日)
ボランティア	41人 (12件)	13人 (3件)
見学実習	2人 (1件)	4人 (2件)